京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告料　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久謙一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

京城居留民團公文

京城居留民團告示 第三十二號

京城居留民團立高等女學校學則左ノ通リ制定ス

明治四十四年六月十六日

京城居留民團民長　古城菅堂

京城居留民團立高等女學校學則

第一章　總則

第一條　本校ハ明治三十二年勅令第三十一號高等女學校令第一條ノ趣旨ニ基キ女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ目的トス

第二條　本校ニ本科及補習科ヲ置ク

第三條　修業年限ハ本科ヲ四箇年補習科ヲ一箇年トス

第四條　本校本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡十二歲以上ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
本校補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等女學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

第五條　生徒ノ定員ヲ四百名トス

第二章　學科課程及每週教授時數

第六條　學科課程及每週教授時數ハ左表ノ如シ

夏季休業前後各十日間ノ教授時數ハ每週十二時以內ヲ減スルコトヲ得

本科學科課程表

學年 學科	第一學年	每週時數	第二學年	每週時數	第三學年	每週時數	第四學年	每週時數
修身	人倫道德ノ要旨、作法	二	人倫道德ノ要旨、作法	二	人倫道德ノ要旨、作法	二	人倫道德ノ要旨、作法	二
國語	講讀、作文、文法、習字	六	講讀、作文、文法、習字	六	講讀、作文、文法、習字	五	講讀、作文、習字	五
英語	讀方、譯解、會話、習字	三	讀方、譯解、會話	二	讀方、譯解、會話	二	讀方、譯解、會話	二
歷史地理	日本歷史、日本地理	三	日本歷史、外國地理	三	外國歷史、外國地理	二	外國歷史、地文	三
數學	算術	三	算術	三	算術、幾何初步	二	算術、幾何初步	二
理科	植物、動物	二	生理衛生	二	礦物、化學	二	物理	二
圖畫	自在畫	二	自在畫	二	自在畫	二	圖案	一
家事					衣食住、割烹實習	三	養老、育兒、傳染病豫防、整理、經濟、割烹	三
裁縫	裁縫	五	裁縫	五	裁縫、ミシン使用法	五	裁縫、ミシン使用法	五
音樂	唱歌	二	唱歌	二	唱歌、樂器使用法	二	唱歌、樂器使用法	二
體操	普通體操、遊戲	三	同上	三	普通體操、遊戲	三	同上	三
手藝	編物	一	組物、袋物	二	編物、刺繡	二	編物、細工物	二
每週時數合計		三二		三二		三二		三二

一、本表中英語手藝ヲ隨意科トシ之ヲ修メザル者ハ裁縫ヲ以テ之ニ換フ

補習科學科課程表

學科	每週時數	課程
修身	二	人倫道德ノ要旨倫理學ノ一般、作法
國語	三	講讀、作文、習字
數學	三	算術
理科及家事	四	本科ノ補説並家事ニ關スル理科一般及實習
裁縫	一五	本科ノ補修
手藝	三	編物、組糸、袋物、刺繡、造花等
教育	二	家庭教育、幼稚保育、學校教育ノ概説
體操	二	普通體操、遊戲
合計	三三	

一、本表中修身家事及理科裁縫體操ノ四科ヲ除キ他ヲ隨意科トス

●東京たより

◎御用紙此程極東の兵備を論じ、列國の例を示して、多大なる國費を之れに捧ぐるも敢て不可なきを云へり、これ無論其筋の意を承けて書立てたるものにして、即ち軍備擴張案の伏線たること明らかなり、然るに其論旨甚だ適切を缺ぎ所謂堅白異同の辯を弄せしに過ぎず候、これを以て國民を誤魔化さんとするはそも〜誤りに候、今日の陸軍費が最早極點に達しをるは國民の認めをる所に候へば、之上の軍備擴張は到底議會の容るゝ所にあらざるべし、併し例の情意投合黨が政府案に加擔するとせば或は政府の思ふが如くに相成候はんも、政友會とて全部腐りてはをらず、中には硬骨具眼の士なきにあらず、此先こそ見物に候。

◎英國は昨今貴族院改造問題にて朝野の耳目を傾けつゝあり、獨り英民族のみにあらで、苟も二院制を執る立憲國は善く此改造に深き注意を拂ふもの也、現在の模樣にては自由黨の勝利に歸し上院より其否認權を奪ひ取る形勢に候、果して自由黨が此成功を見ば其他の各國に及ぼす所容易ならず、畢竟英國民の最多數を代表する下院に對し、上院が保守一片にて常に時代の進運に伴はず、妄りに立憲制の美果を妨げんとすとが故に、先づ其立法上の權利に制限を加へ、下院にて三回是認したる法律案は、上院は如何にするも否認することを得ざることにしたる者に有之候、

◎英國にして猶且然り、日本の如き極めて新たなる立憲國の歷史を有するものが單に地主と云ふが故に、貴族院議員たる權利を有すと云ふは、甚だよろしからず、吾人は之を以て長者議員制度の全廢を希望するものに候。

◎貴族院の長者議員なるものは、今日の儘にては無用のみか反つて害物なり、況んや僅かなる人數を以て之を互選するをや、由來財產と智識に伴はざるか常に候、人の値打は財產より智識にあり、吾人は次期の議會に於て此惡制度の改善をなさんことを只管希望罷在候

●三授產場現況

京畿道參與官は管內廣州、陽智、水原の三授產場觀察を命ぜられ去十二日出發し同十四日夜歸臨したるが其談話によれば各授產場共養蠶の成績太だ佳良にて水原は去十四日陽智、廣州は同十五日を以て收繭したれば引續き柞蠶の飼養に着手する筈なるが傳習生は何れも熱心に立働きたるは實に感ずるに餘りあり是れが爲め附近の鮮人も不尠鼓舞激勵せられて養蠶熱に傾きたれば明年は定めて養蠶家多數現出するならん尚ほ水原には農事傳習所の設立あり傳習生三十八名を收容し居れるが是れ又熱心勉強中なれば異日の成績大に見るべきものあるべしと

●全國の植付良好

朝鮮全道に於ける稻の植付模樣に關し當局の語る處に依れば各地とも本月初旬より植付を開始し來月上旬頃に終了する筈なるが今日の情況にては一般に天候の模樣にては成績良好に、若し來月下旬より八月上旬頃にも及ふ事ならば誠に困難するも昨今の天候の順調なればかゝる憂なからんとのこと也

召使れ初　黑法師

第八十一回

周防守殿は風邪の心地優れずとて、御座の間の小座敷に打ち伏しておはせ

なりき、御枕頭には奥方澄々御介抱あらせられて、二の間より三の間掛け、深野、若江、相生を筆頭に、中年寄、表使、小姓、坊主、十人ほども詰め合せ、什麼がな御慰みになるべき浮世話どもなりき、周防守殿はその罪もなき浮世話聞かせつゝ、うつら〜と夢に入りたまふ、さしたる御大病にてはなけれどお樣の上には奥醫も二名伺候せらる

「玄伯、御容体は什麼であるな」

奥方は徐に問はせぬ玄伯は六十に餘る老醫師なり、銀糸を束ねたる如き長き顎鬚撫でながら

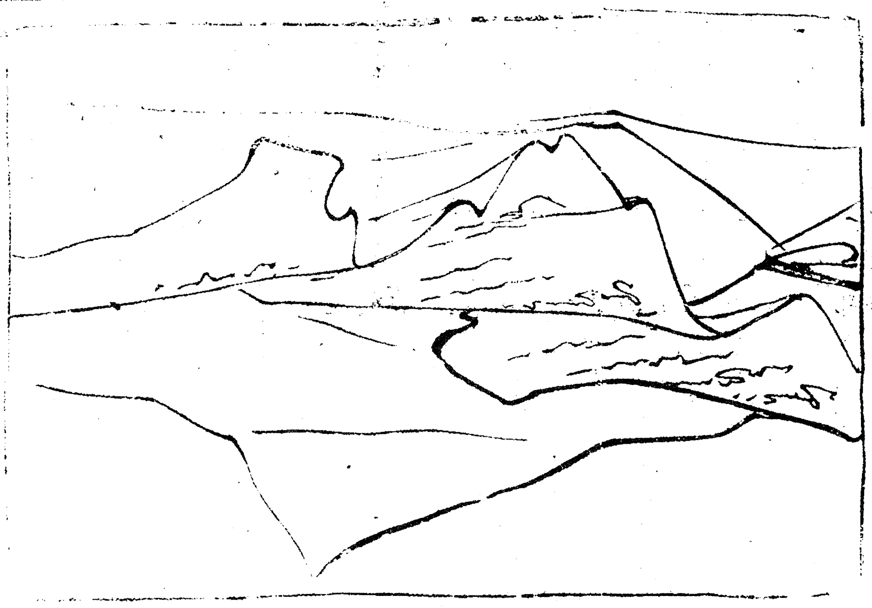
「今日は御熱氣もござりませぬ、模が御風邪の氣味、二三日中には床上げもあらせられうと心得まする」

「すや〜御眠らせ、仔細あるまい喃」

「總て御快癒の兆でござりまするで、恐れながら御安堵あらせられて然るべく心得まする」

奥方と老醫師との間に、御機嫌御容体のこと共濕やかに語合される時、お三の間に、ぞと笑ふ女の聲、漏れる如く聞えたり

「靜に〜」と若江は二の間より聲かけて「御前御眠らせ、お靜かになされませ」



蛙の小田に鷹の羽風さしたる如く、人々の話聲ふつと止みしが、やがて一人、小さき聲して

「皆樣さうでござります、斯樣なお手紙、お廊下に落ち散ってあるやうでは御殿の御風儀が思ひ遣られるでござりませぬか、御座の間へ聞えぬやうに、お久どの讀んで御覽じませ」

お久と呼ばれたるは、澤野の手に召し使はるゝ婦女なり

「さぞ面白いお手紙でござりますか、な旦那樣お退りを待つ間の憂晴しに、これで讀み上げ申しませうかな」

「ようなされいの」と一人は薪に油を注ぐ如く云ひ「何も

「どれ〜」とお久は手紙を手に取りて「お道樣御許へとござります、然も殿方お手の跡、こりや怪しからぬ

「不用議なものが、手に入ってござりまするな」

お佳は相生の召使なり、笑ひ聲を噛み殺すやうにして

「お廊下で拾うたのでござります」

「何時の」

「只今これへ參る途中、お道さまに限って、然樣な事のある筈ござりませぬが、お手は正しう殿方ござります、何の樣な事認めあるか、早うお讀みなされませ」

「然し封が切ってござりませぬ、お道さま宛のお手紙、自體に封を切って宜いでござりませうかな」

「たはヽヽ」とお佳は轉げるやうに笑ひ「何時になく、お堅い事仰せ、お道さまが中年寄お道さま一人と思召しござりまするか、中年寄お道さまは、關尾樣部屋子より一足飛びの御出世遊した方、殿方とお手紙の遣り取りなさせらるゝ筈ござりませぬ、これは同じ名で人が異ふ、彼の御出世頭のお道さまでござりませぬわな」

「眞にさうもござりませうな、さらばこれにて……」とお久は手紙の封を切る、中から出でしは媚かしき艶書なりき

京城新報

併合の行賞を民團に及ぼせ

韓國併合に關する論功行賞發表せらる、而して其恩澤に浴せるものは獨り關係諸官吏に止まり、此外に終始一貫能く我國力を鮮土に扶植し、不知不識の間に併合の種を蒔たる大功勞者あるを忘却せるは是れそも何の故ぞ、吾人は行賞を奏請せし當局の茲に想到せざりしを憾みとすると共に、今回の行賞に對して不滿の念無き能はず。

顧ふに、朝鮮併合の擧たる一朝一夕の間に生ぜしに非す、又突如として起りしものにもあらず、之を決行するに至りし迄の經路を討究すれば、其因由極めて深く、唯之を爲すの機會を捕捉するに付て上下共に苦慮せし所なり、然かも今回行賞の榮譽を荷ひし人々は機會到來に際し、各々其職分を盡ふしたるに不過、之を農事に譬へんか、黃熟せる稻を刈取る役目に當りしものと同じく、刈取をなす迄には、種を蒔し者、播秧に從事せし者、苗の保育をなせし者ありて始めて收穫の終りを全ふすべく、勞苦に至つては何れもさして輕重あるなし、寧ろ種蒔より保育迄の業に當りし者の精神的勞苦の大なるものあるを想はざるべからず、毎に現政府に謳歌せざる民間政客及び新聞紙が這般の行賞を論じて、熟柿の落ちたるを拾ひたりとて行賞の價ありとなすは可笑しと冷評せるものを咀嚼せば一片の理窟あり、之を以て直ちに眼鳥を强ふするものと斷定すべからざるも、併し熟柿も之を地上に委せば折角の美果泥土に塗れ之を口にするを得ず、故に拾ふにあらずして樹上より我手に移し形体の損壞するなからんことに注意を拂はざるべからざるは、併合當時關係の諸官吏にあらずんば、能く其間の機微を知れるものなかる可し、之を思ふ吾人は關係官吏の行賞は當然なりとして何等容喙せざるも、獨り官吏のみ恩澤を被り、併合の因を作りし者が之れに洩れたるを重ね〳〵憾となすものなり。

吾人が目して併合の因を作りし者と云ふは、夙に內地を去つて鮮土に來り、孜々として業に努め、造次顚沛の間にも我國威の發揚を忘れず、殖民的經濟的に日鮮兩土の關係を密接せしめたる在鮮內地人是なり、是等內地人が築き上たる民團は幾多の公共機關を整備し內地人の進展と膨脹を圖りつゝあり、其成立の根源に溯れば官府の慫慂を俟たず多くは內地人進取力の發動に基き終に今日に至るの間悲慘なる事に遭遇したるも亦尠なからず、如何に政府が國是を遂行せんとするも、國民にして之を解せず、政府の意に背馳して一齊に動せざる所なからむか、過去二大戰爭も單に徒勞に屬せんのみ、然るに在鮮內地人は能く帝國國是の方針と服膺し、各々本分を盡し、商に農に經濟的地盤を開拓し、京城に於ける民團設備の整頓、釜山民團の殆んど內地市街と異るなき等其他各民團共夫れ〳〵長所を有し、相競ふて國民發展の典型と形成し政府をして力を鮮土に傾注せずむば已まざるものあるに至らしむ、あゝ在鮮民團の國家進運に資せしもの如此、吾人が民團を以て併合の種を蒔きしものとなすも敢て過言ならざらむや、若夫れ之を併合關係官吏の功勞に比せば如何、優るものあるも決して下らざるなり、之を以て此際我國家は在鮮各民團に對し其功勞を表彰せざる可からず、表彰の方法としては民團代表者に授勳も可なり、民團に恩賜金あるも可なり、其何れを探るを不問、吾人は民團功勞表彰の擧一日も速かに現實にせられむことを切望す。

東京電報（十九日發）

▲奈良縣水害　數日來の豪雨にて奈良縣下宇陀郡高市郡の各郡に家屋の流失、山嶽の崩壞、橋梁の流失あり國谷隧道線路破壞一時は汽車の運轉中止せり尙は溺死者多數ある見込なり

▲革命黨員橫行　支那各地に革命黨員橫行し北京方面にも多數入り込み居るが彼等は何れも斷髮して洋服を着用し日本人の姓名を名乘る爲め邦人は多大の迷惑を感じ居れり

▲日英博と論功　日英博覽會に關係ありたる和田彥四郎氏以下二十名に對し來る二十四日行賞敍勳の發表ある筈

▲山火事と賜金　去る五月上旬北海道は火災の爲め被害少からざる趣聞召され　天皇、皇后兩陛下には附近の村落に對し金三千圓小樽罹災者に金七百圓御下賜の御沙汰ありたるに依り渡邊宮相より石原北海道長官に傳達したり

▲清國實業團の日程　來る十月上旬渡來すべき我商業會議所聯合の招待に係る清國實業團は長崎に上陸後三池炭坑八幡製鐵所を視察し宮島大阪京都に各二泊其れより橫濱に至りグランドホテルに投宿各所を縱覽の上東京に入り帝國ホテルに一週間投宿各所を視察する豫定にて其間商業會議所員付添案內を爲し該費用の全部を負擔するものなり

▲露皇帝と米艦隊　露國皇帝は米國艦隊をクロンスタツトに訪問すべしと

▲黑江軍の增員　露國政府は黑龍江の軍隊を十万に增加せんとの計畫あり且つ清國勞働者を兵營建築工事に使用せんとの噂あり

▲獨逸皇帝の御巡遊　獨逸皇帝はハンノーヴエルに趣かれたる後ハンブルグに行幸相成たり然して六月二十日より七月二三日迄チール軍港海軍競技會に臨御あらせられ其より例年の如く北海御巡遊の途に上らせらるゝ筈

▲各元老に御下賜金　長き過りにては松方侯を始め各元老大臣大將待遇等に對し中元の恩賜金ありたり

▲低利資金融通　內務省の低利資金貸出二百五十萬圓は大藏省に廻附したるが地方局にては昨今更に調査中なれば七月中旬查定を終り八月に入りて漸次許可の指令を發すべし

雜報

●森林令發布期　曩に裁可を經たる森林令は愈々二十日發布の筈なるが同令施行期日は追て之れを定むへしとの事なり

●新制令發布　從來母國に於て施行されたる法律を特に制令を以て朝鮮に施行する事を規定し從來且母國法の改廢ありたる場合に於ける制令の効力に關しては其解釋區々に涉り其の弊害尠からざりしが今回此の缺點を補はんが爲め制令を以て法律に因るべき事を定めたる場合に其の法律に改正ありたる時に於ける其の制令の効力如何に關する制令は此の程裁可されたるを以て近く發布さるべしと云ふ

●總督の晚餐會　寺內總督は二十一日午後七時官邸に於て柴田總裁、藤井軍令部次長、茨木中將、川村伯、立花書記官、小林和泉艦長及乘組將校等を主賓とし大久保軍司令官、松永師團長、倉富、石塚、荒井の各長官、小宮次官、田邊院長、國分檢事長、藤渡院長、本田場長、池田長官、俵副總裁、明石少將、宇佐美長官、菊池局長、小城技師、小倉主計監、中村檢事長、城院長、國分、小松の兩局長、檜垣長官、中村技師、園屬、小原の兩局長、大西軍醫監、柴少將、外波少將、中山地方裁判所長、荻田課長、岡本事務官、工藤課長、中山、秋山、太田の參事官、佐藤病院長、市川參課長、十時大尉、中山大佐、兒玉秘書官、津野中佐、藤田大尉、篠波通譯官、和田試補等五十餘名を招き盛なる晚餐會を催すべしと云ふ

●日鮮鑛業視察團　米國鑛山業組合員百二十餘名は日本及び朝鮮滿州の鑛業狀態視察の爲め一團となりて來る十一月十九日橫濱着のモンゴリヤ號にて渡來する由

●人蔘の製產高　往時十萬餘斤を產せし朝鮮の紅蔘も例の李容翊時代は苛しき誅求をなしたると病害の大なりしとに依り非常に減少し昨年の如きは僅かに九百斤を產せしに過ぎずして本年も千二百斤餘ならんとの事なるが當局にては蔘政經營以來病害の排除及栽培の獎勵等に意を用ひ本年春期には四十萬圃の栽培をなしたるが今後四年を經過せば每年約四万斤以上を產出すべしと云ふ

●地稅負擔の比較　朝鮮の地稅負擔額は之を內地に比すれば非常に僅少なるは吾人の知る處なるが其比較を知る者は少なかりしが度支部當局者に於て調査したる者に依れば左の如し尤も朝鮮の分は田畑、宅地等を通じて一反步の稅金を示せしものにて內地及北海道の分は宅地、田畑を區別したるもの也

京畿道	二五二厘	忠北	二八四厘
忠南	三九七	全北	四一〇
全南	四一一	慶北	二八〇
慶南	三五八	黃海	二一四
江原	一八一	平南	一〇〇
平北	九五	咸北	三四
咸南	六八	平均	二四三

即ち平均一反步二十四錢三厘なるが內地に宅地四圓十三錢六厘田畑一圓十錢九厘平均一圓三十一錢五厘北海道は宅地十二圓五十三錢五厘田畑二十二錢二厘平均一圓二十五錢一厘也

●軍司令官巡視　大久保軍司令官は十時副官を隨へ二十日午前九時當地發軍事視察として大邱に向ひ同地一泊の上二十一日より約一週間馬山港に滯在同地所部隊を視察大邱を經歸任の筈

●派遣隊幹部交迭　朝鮮臨時派遣隊步兵第一聯隊大隊長步兵少佐有賀貞雄氏は步兵第五十三聯隊大隊長の轉補其の後任には步兵第五十三聯隊大隊長步兵少佐石川幸二郎氏に朝鮮派遣隊步兵第二聯隊大隊長五十嵐少佐は步兵第四十九聯隊大隊長に轉補され其の後任には步兵第四十九聯隊大隊長步兵少佐權野佐吉氏補せられたり

●地方官會議諮問案　七月一日より開會さるべき地方官會議に提出すべき諮問案は當局に於て夫々起案中なりしが今回全部終了したりと云ふ

●京城民會の開會　豫報の如く京城民會は十九日午後三時より民團樓上に於て開會す

●在鄕軍人發會式　既報の如く京城在鄕軍人會支部並分會發會式は十八日午後一時より景福宮內勤政殿に於て擧行せり當日は朝來よりの降雨午後には益降車軸を流さん許りなりしも來賓、會員は定刻前より續々詰掛け會長寺內總督、大久保軍司令官及び明石少將等以下七十餘名會員は四百五十名に達し旋て一發の煙花を合圖に何れも着席するや藥師川京城憲兵隊長は開會の趣旨支部及分會假規約を朗讀しそれより評議員選擧、分會長分會副長、理事、監事の互選に移れるに這は便宜上豫て人選せるものを朗讀し滿場異議なく可決を見しが次いで藥師川支部長は支部評議員、支部副長、同理事、監事の指名選擧を行ひ引續き支部及分會役員就任の挨拶あり斯て會旗授與式を擧行し暫時休憩の上午後三時より更に來賓着席し再び發會式を行ひ藥師川支部長の式辭、海津分會長の勅諭捧讀及び議定書、宣言書の朗讀ありて後ち寺內總督には帝國在鄕軍人會々長として一場の訓示的演述を試みられ大久保軍司令官の講演其他二三の祝辭講演あり右終るや藥師川支部長は祝電朗讀寄贈金品の披露を爲し是れにて式全く了へ君ケ代の奏樂に次いで喇叭を以て食堂の開始を報じ簡易なる酒肴の饗應ありたるが餘興としては劍擊銃鎗柔道試合角力講談落語煙花等ありしも間斷なく降りうる五月雨に來賓會員は構內の消遙も出來ざれば何れも思ひ〳〵餘興に打集ひ是れが爲め大に賑ひ會員の飛入などもありて興更に盡きず午後六時頃散會解散を告げたるが雨中の事とは言ひ乍ら流石に軍人の會合とて雨など物の數ともせず頗る盛況を極めたりき

●軍人會役員　十八日の京城在鄕軍人會發會式に於て選定したる支部及分會の役員は左の如し

▲京城支部役員

支部長　京城憲兵隊長憲兵中佐　藥師川常義
支部副長（評議員）　後備憲兵大尉　野坂清成
監事（同）　後備三等主計正　松松鎭次郎
同（同）　豫備一等主計　足立律郞
同（同）　後備二等主計　前田喜聰
理事（同）　後備步兵中尉　藤本元次郎
同（同）　後備二等主計　土岐賢一
同（同）　豫備步兵少尉　大島勝太郎
以下評議員略す

△京城分會役員

分會長（評議員）　後備工兵中佐　海津三雄
分會副長（同）　豫備砲兵中佐　光井晋
監事（同）　後備三等主計正　松林鎭次郎
同（同）　豫備一等主計　足立律郞
同（同）　豫備二等主計　前田喜聰
理事（同）　後備步兵中尉　藤本元次郎
同（同）　後備二等主計　土岐賢一
同（同）　豫備步兵少尉　大島勝太郎
以下評議員略す

●日鮮間電信不通　十八日朝來の豪雨の爲め日鮮間の電信線に故障を生じ同日一時頃より不通となり朝鮮內にても平壤より釜山に至る四條の線中三條まで不通となり十九日正午頃一線を回復したるも大邱線は依然不通にして大阪線も相同じく東京線は下關を經て纔に通じ居り其回復は十九日中は覺束なかるべく多分二十日當に復すべしと

●民團と技藝學校　湖綜喜三郎氏の經營にかゝる旭町一丁目の私立女子技藝學校は夜學校及び幼稚園等を併置し幾多の子女を教養し居れるが一私人の力能く其設備を完うし能はざるを遺憾とし嚮に同氏より相當の補助金下附されん事を京城民團に請願に及びたるより當來學事掛に於ては夫れ〳〵調査中のところ選擧者に於ても至當の請願と認めたるにぞ今回本年度限り年額金五百圓を補助し相當資格ある教員を增聘せしめ以て其內容の改善を期せしむべく本日開會の民會に右議案を提出せり

●松永師團長歸任　北韓各守備隊臨時檢閲の爲め出張中なりし松永第二師團長及隨員岩井少佐、東一等軍醫正松浦主計正堀田獸醫正柴牛田理事花山工兵大尉山田步兵大尉の一行は豫定の檢閲を終了し十八日朝龍山着歸任十九日大久保軍司令官を軍司令部に訪ひ歸任の挨拶を爲したり

●柴田總裁の再入京　西鮮方面及安東縣を巡視中なりし柴田拓殖局總裁は十九日夜十時三十分再び入京所三日滯在の上鎭海灣を視て釜山より歸東の筈なり

●軍令部次長の入京　鎭海灣鎭守府視察中なりし海軍軍令部次長藤井較一氏は十九日仁川に上陸直ちに入京すへしと云ふ

●經理部員交迭　軍司令部附一等主計松本淳吉氏は野戰砲兵第二聯隊に轉任し其の後任には會計監督部員中尾丑吉氏任命せられたり

●今岡船舶課長　兼て命令航路變更調査の爲め北韓地方へ出張中なりし遞信省船舶課長今岡純一郎氏は十九日釜山發海路仁川を經て當地に向ひたる由

●岡野告天子の歸京　久しく北韓地方巡視中なりし大坂朝日新聞特派員岡野告天子は二十日頃歸京の筈也

●戶口調査の開始　京城民團の戶口調査はいよ〳〵十九日より開始せりと

●軍艦和泉の入港　廿二日英國皇帝陛下の戴冠式祝賀のため我海軍は同盟國の親交を表すべく特に軍艦和泉を仁川に派遣する事となり艦は二十日仁川に入港すべしと云ふ

●仁川商友會　仁川商業學校に於ては十八日午後二時より女學校雨天體操場に於て同校關係者一般の商友會を組織し並に發會式を擧行せられる會衆現在職員及生徒卒業生徒其他來賓等にして約百六十名鈴木校長の開會の辭來賓の祝辭職員及生徒の唱和あり會長に鈴木校長を推薦し幹事若干名を措く事を決し餘興に移り擊劍柔道等あり同六時閉會したるが頗る盛會なりき

●木浦人口增加　本年度に入りてより全南木浦港戶口は著しき增加率を示しつゝあり取り分け去る三月湖南鐵道木浦驛設所の設置せられてよりは更に一層の激增を爲すの趨勢にして之れ等は云ふ迄もなく鐵道景氣の影響なるが今回民團の戶口調査を記せば

		戶數	人口
四月	前月	九二五	四、二七九
	本月	九六五	四、三五九
五月	前月	九六五	四、四七四
	本月	一、〇〇五	四、三五九

即ち四月は三月に比し戶數四十人口八十を增し五日は四月に比し戶數四十人口五十五を增したるにて一ケ月約百名を增加する此の割合を以てすれば年末迄には今後千餘名の增加を見るべく殊に十月の鐵道起工と同時に從業者の入込むものあらんか本年末同港の人口は優に七千近くを見るに至るべく觀測さると同地よりの歸客は語れり

內地巡禮日記（十）
水浪生

五月十八日の續き、余は春日神社に參拜の後ち、同行せる家族の爲め、初夏の永き日を特に永きものと解釋し、所謂奈良見物の順路に因り、三笠山の麓を過ぎ、二月堂、四月堂、八幡宮其他數知れぬ神社佛閣に賽し、終りに臨んで大佛殿に賽した。見るから大なるべき筈の所謂奈良の大佛、幵が故高山林次郎博士が主張せるが如く露出せらならば、其背景と歷史とは賽者をして大佛の大を叫せしめん、而かも惜むらくは我大佛樣身に智慧が廻り兼ねて小人等の幽閉に甘んじ、喰物たるに甘んず、誰かある、錦繡閉障となつて行いて大佛を大佛殿より背負ひ出せ、ソウして彼れを今の幽閉より救へ。

東大寺門を出て、元京城の警務總監にして、今の奈良縣知事たる若林賚藏君を訪はんとし、從者をして縣廳に君の在否を問はしむ、官房係某返事して曰く若林知事近者出張に次ぐに出張を以てして中々繁忙を極む、今日も午後八時頃ならでは出張先より歸られずと、余時間を有せざるの故を以て若林君に會するの愉快を得ず、因つて從者に命ずるに余の名刺を屆けんことを以てし、發車に間も無き樣子故停車場に到る。

午後六時京都へ向け奈良を發す、途中事故あり、木津驛に下り、次の列車に搭じ午後十一時京都驛に着し、直に俵屋ホテルの番頭に迎へられて同ホテルに投す。熟ら〳〵思ふに余は本十八日の朝を以て神代の伊勢を發し僅に十數時間の中に奈良朝を過ぎ、桓武の平安朝に遷す。入浴後晚食を了り、明朝の日程を作り、寢に就かんとする際側にありし新聞を見ればコワ如何に元の警務顧問丸山重俊が病ひ危篤に陷つた記事と我京城新報が解停になつた記事が載せてあつた、嗚呼重俊丸山君、君は今の明石君と同じく何の因果か我京城新報に對して壓迫を試みたものだ。併し君が壓迫を試みた京城新報は天祐に因り今尙ほ命脈を續けて居るが、人事は判らぬもので百年千年鬼の如く遷者であるべき筈の丸山君が病ひ危篤になつた、余先年丸山君と若林君とを評して曰く前者は豚のテンプラの如く後者はザル蕎麥の如しと、評の當れるや否やは余之れを知らず、而かも今日に到つて豚のテンプラの爾多きに失す。

▲茶袋▼

日本帝國は海の國である、日本人にして海に對する觀念が薄であつたなら決して今日の樣に强國の仲間入をすることが出來ぬ▲然るに近來日本の海上權が漸次縮められて來るやうである、其事實を擧けて云へば濠州の採貝移民の禁止法、米國と露國との發案で英國の之れに贊同せる膃肭獸禁止會議に日本を參加せしめた事露國政府が無法勝手の說を唱へて已れの領海權を擴張し公海に於ける日本人の漁業區域を縮少し其上更に條約によつて日本人既得の漁業權を制限せんとする事であるが共に日本人の海上權を侵害するもので實に我國民にとりては由々敷大事件と云はねばならぬ▲近來の樣に各國が日本の不利益を願はぬやうになつて來るは、ソモ何の故であるやを解せぬが、ドウも近き未來に白人と黃人の競爭が起らねばよいがといふ考が起つて來る、之等は大に我國民の大々的覺悟を要すべきものであると同時に我外務當局の責任も益々重くなつて來る、尤互に緊褌一番富力を積みて他日の用に立てることを忘れてはならぬ▲昨日の本紙にあつた如く府が獨立になつたために京城民團の高女補修科設置申請してからやつと二三ケ月目に道廳から認可があつた、これでは人民の不便想ふ可しである。

●相場電報

●仁川米豆取引所

●大阪期米電報

▲京龍兩驛の貨客▼（十八日分）

▲岩瀨靜氏（大邱民會議長）同上

▲宮崎友太郎氏（靜岡實業銀行取締役）同上

▲小鹿島鏡氏（開城農銀支配人）十八日仁川より大連へ

群山俄道中記

ヲ便　六月五日　山雲水神生

早く伸びる木は葉が太く伸びの遅い木は葉が小さい、これ植物學の自然法、そして早く伸びる木の幹は脆く伸びの遅い木は固い。前者は梧桐の類にして後者は檜や楠の類である。

碌枝大葉の梧桐に於て其枝幹は極めて脆弱、即ち折れ易く朽ち易く曾て千年の老樹なく萬年の古木を見ず、楢や楠は其生長き遲々たるも年を追ふて底止せず、根幹堅實にしてよく風雨霜雪の難に堪ね、遂に蒼然として牢天を覆ふに至る。

草木に於てこれを見る大自然天意の啓示は、人心に應じ人事に發して又因果の理を語る、順天合理、これを知る者は栄へこれを解せざる者は即ち亡ぶ。

一獲萬金僥倖を一擲に決する線相場米相場、一攫千金土工三割の請負など云かにもはでな男商賣山仕事、取つてもやつてもキビキビと、氣持が宜いほど青々と桐の葉の、太ければ太いだけうよとの秋の夕風にもはらりはらりと散りやすきに似て、掴み取り濡れ手の粟は落ち易い、惡錢身につかぬ大切な道理をば野暮と笑ひ、天を恐れず運を思はず只管に、我が血の狂ふ其儘に此世を押し切つて一番やつて見ようの了見は元より惡くはないとして、二人でやる慕辨様なら自分の勝手に相手がならぬ。

我儘氣儘一人の自由になる浮世なら宜かろうが、生憎軒續きの割長屋、隣りの火事とやとほつては置けぬ、火元は一つでも近火見舞の返禮廣告は連名が割安に濟む世の中に、生きて働く人は先づ人といふ字をよく見よ、二人相寄る姿にして、其繪といふ字を見れば、人と力を重ぬると書いてある、力と重ね力を合する共同作業、共存生活、共榮共樂は是れ社會學の唯一理想根本定義ではあるまいか。

そこで妄りに人を蔑け人を苛めて我意我欲を充す共盛運ひつまでか身を持せひ、忽ち失脚奈落に墜つるは是れ積惡の餘快のみ、そこで同じく金を儲くるにも自分も儲け人にも儲けさせ、一身を利し一家を利し國家社會を利するに至つては其功も亦大ならずや。

臨益水利組合はこの理想に依つて生れ組合長藤井寛太郎君理事川崎藤太郎君等は實に此信念を以て起ち信條を以て行ふた、宜なり天の時と地の利と人の和は、灼々炳乎たる此理想に玄圓融化せられて大事茲に成り、益山臨波二郡に跨る周圍八里面積一千町歩の堰堤の貯水池に、渺漫として湛ぬられた六億立方尺の水を得し、比年一反三四斗乃至四五斗平均收穫は本年度より一躍二石に飛んで價格に見積り、四十五万圓の增收は嘘の様な眞實明白、これに要せし費用僅々二十五萬圓、水一升に金一升の地方民の喜び地主の滿足推しばかりぞ、茲に至つて雨も降り甲斐があり太陽も照り甲斐があると云ふもの、詳しくは次便にて

狂亂「腐れ玉子」

▽二十個で二十四錢

去る十六日午後六時頃西小門通り本町前街路に於て年頃二十五六のハイカラ風な妻君三歳計りの女の子を背負ひたるが恰も狂氣の如くなりて十四五計りなる韓童の手を捉へて「玉子を二十二十四錢で買つたのは貴樣だらう夫れが皆んな腐つて居たのだ交番へ來い」と女にあるまじく猛り狂ふ樣に何うした事かと譯を聞けば同日午前六時半頃の事なりしとか此の婦人の住宅なる〇〇〇円停車場傍〇〇〇小學校々舍に此の韓童が玉子を賣りに來りしを二十個二十四錢にて買求めたる跡にて食用に供せんとて打ち破りしに腐れて居るモ一つモ一つと打ち破りしに悉く腐れて居るのだ食用に供すべき樣もなし不埒の奴よ見付けたらば談判せんと思ひ居る時しも通り蒐りし西小門通りにて出會ひしより引つ捉へて罵りつゝありしなるが然るに肝腎の韓童は自分は決して玉子を賣りたることなし職業は長谷川町廣江商會の工場に勤むる者なれば人違ひなるべしとて樣々に辨疏すると聽を云ふとて力を籠めて引き摺るを行かじと彼れの爭ひを通り掛りの誰れ彼れ不埒著よと打ちやら蹴るやらの所へ自轉車走らせ來蒐りたる某雜貨店の小僧此の妻君と知り合ひと見へ矢庭に韓童を引き摺りて貞洞派出所へと引つ張り迄み妻君は其の薄き唇を翻して「今朝六時半頃此の韓童より玉子二十個を二十四錢に買ひたるに悉く腐り居たり然れば**お上の御威光を持つて例令十錢にても返し呉るゝ樣**御説諭ありたし」と訴へたり詰め合ひの警官取り調べしも彼の韓童は「自分は朝五時頃より廣江商會に勤むるものにて此の如く出入門鑑職工證を所持し居れば六時半頃玉子を賣り歩行理由なし此の奥樣の間違ひなり」と言ひ張るに婦人は夢中になり「決して間違ひに非らず、此奴は詐欺なり」と罵り喚く警官曰く「如何に間違ひなしと云はるゝも取調べたる結果決して此の者が玉子を賣りたる事實を認めず彼れは朴大坂とて煙草工場の職工なりた者へ違ひにてはなきや」「イヽエ違ひませんとも」と物狂はしく云ひ張る警官聊か持て餘し氣味の「然らば追つて取調べ御通知申すべし名前と住所は」と手帳を展ける婦人曰く「某**小學校教員**、西大門に住む**○田の妻でムいます**、イヽエ番地は御座いません、ウーン」と此所へ腰も現は駆け着けたる五十餘りの老婦人(本社後に住む人なり)「二十四錢位の事で打たり叩かれたり可愛相ですから許して遣つて下され」と人を通して警官に申し入れる「好意は然ることなから夫れに及ばず放還すべければ」と○田夫人に向ひ「貴女は此れを打ちましたか」遂に悄氣て「イヽエ其の何アに」傍人曰く「二十で二十四錢の玉子腐ても居ようさ」

悔悟の自白(三)

金波投

遲いやね此時はもう妾のからだは既に金に代へられて仕舞つたあとよ、それなことは知らずに頼りにきよと／＼しているとその婆さんが妾を二階へつれて上つて初めて話しをきくと豈驚かざらんやで妾しをこの家の主人のめかけに賣りこんで五十圓という金を攫つて逃げられたのサ、口惜しいの腹がたつのといつて、すぐにも訴へてやらふと泣て地團太を踏んでいたのを家中のものに、だん／＼となだめられ、すかされたり半分は、きようはくされて年のいかない妾だから心細くなつて涙ながらにとう／＼往生して仕舞つたが其男が六十の爺さんで妾が十六丁度數字が顚倒する程違つて居るからいやで／＼たまらないから、どうかしてせめて一時のがれでもと思つてみても、もう駄目先は金で買つた代物だという事で殺すも生すも自由だといはない斗りに鼻息の荒いと、の面を見ると、ますます／＼いやになつて片時も此の家に居る氣はしないけれど何分大勢の目で見張つていられるもんだから逃げることも出來ずそうするうちに夜になつてくるし隅つこの方にちいさくなつて御飯さへたべずにいるとそこの女中がいたわつて與れてかれこれしんせつにいうので夢中に一膳のめしはたべても心はれちつかず今さらのように後悔して泣て居なのするいと婆さんがかにもやさしそうに、もう今夜は此寝みと奥の狭い間に連れられて妾し一人やすませたのやれ／＼と思つてねたものゝなか／＼安心してねられるもんぢやわない、ちいさな胸にいろ／＼な苦勞をたゝんで神經はたかぶる目はさへて、すこしもねられない處へ突然斷襖をあけてぬつと這入つて來たのがでく／＼と肥へてあぶらぎつたでまあたまの大入道、さもにくさげな家の親爺が髯面に笑をふくんで居るあなやと思ふ暇もない……ア、無慘……其時のことを思ふと今でも身が戰慄とする位うれかのちというものは爺が妾がへつて得意になり孫のような妾を可愛がつて片時も傍を離さず、思ひのまゝに弄ばれるのでいやで／＼でたまらなくつらい悲しい口惜しいけれど籠の鳥で仕方がないから辛抱して居るうちに月日のたつのは早いものでこゝの家にかれこれ百日斗り妾がこんな處に居るのをどこから知れたか國の親から深川署へ保護願が出たのサアこれからが又面白いのよ(つゞく)

●子故に迷ふ親心

仁川平洞三十七統三戸酒店趙希祚方へ去十二日午後十一時頃放火し藁屋根に延燒せんとする處を家人及附近の者が認め早速消止め一方犯人を現場にて取押へ其筋へ訴出でしより仁川署にて嚴重取調へたる處仁川府内面平洞二十統四戸朴姓女(五八)とて犯罪の原因は朴の伜(二七)が前記趙方にて毎日賭博をなすより常に意見を加へつゝあるに係はらず改心せさるより一層趙の家を燒失せしめなば止むなく伜も改むるならんと之れまで六七回も放火したる事あれ共物にならざりしなりと自白したりと昨十九日檢事局へ送らる

●殺人犯の死刑

京畿道麻田郡公内面三華里三統二戸韓日洙(二二)楊州郡江内面松山里金秀月(十九)の二名は共謀して昨年八月五日午後三時頃漣川郡邑内に於て内地人賣藥行商横枕竹次郎を斬殺し所持品を奪ひ其他數ケ所に於て強盜を働き其の筋に捕はれしが京城地方裁判所に於て死刑の宣告ありたり

●燒酎を飲で縊死

仁川松林里六統一戸居住仁川驛役夫奥弘石の妻趙氏は去十七日自宅温突内に於て縊死を遂げ居たるを十八日午後六時頃家人が發見、其筋へ屆出でたるより久木田醫士及警官出張檢視をなしたゝ死後約二十時間を經過したるものらしく原因は同日燒酎を多量に飲みたる形跡あり精神異狀を呈し遂に縊死をなしたるべしと云ふ因に同女の父は一昨年九月江華島に於て縊死を遂げし者なりと

●浮浪犯人の舊惡

三重縣人當時住所不定岡田彌之助(三二)が去る十七日午前二時頃壽町二丁目中島病院前を徘徊する擧動不審と認めたる南部署佐原川副署刑事及竹村巡査は本署に引致し取調べたる處前科付曲物にて去る四月中旬旭町一丁目今村次郎太方に於て衣類八點其他金品數十圓を窃取し行衛を晦したる者なる事判明せり餘罪ある見込にて取調中

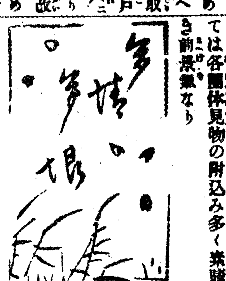
●材木を窃取して　南部水口洞住李業昱(三七)は太平町一丁目向井卯一所有の建築材料八寸角長さ二間の木材を窃取し南部署に突き出され取調中

●檢事局送り　既報愛知縣人前科付曲物自轉車鋪請負業者羽生松太郎事岡本松太郎は詐欺及窃盜犯にて檢事局に送る

●演藝だより

●浪花館　東京大阪合併演藝會にて開演後大人氣なるが落語、手踊り、曲藝筑前琵琶、清元、浮世節等あり

●壽座　昼報の如く片岡松之助一座七十餘名の一行は十九日午後八時十分南大門着乘込み二十日は樂隊を先登に町廻りをなし二十一日初日を出すに就きては各團体見物の附込み多く素晴らしき前景氣なり



京城藝妓の半生(卅八)

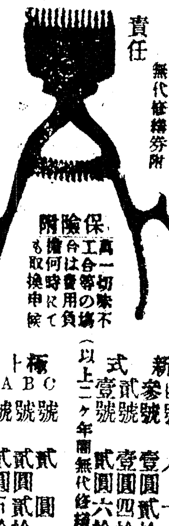
清華亭三太(二)

落籍されはされたが幾何華族樣でも親掛りか加かも其の親たる兵隊に石塊の罐詰を食はせ樣としたと云ふ香らぬ噂さへありたる野田豁通、其の噂に憤慨し山地獨眼龍將軍は之れを詰責し樣として果たさず悶死したとも傳へらるゝ兎角噂ばかり優しくないれ父さんだ、到底船板塀に見越しの松、猫一疋に下女一人、欅の如輪モクの長火鉢を前に脂下ると云ふ寸法に納まらない、女の親元が藝妓屋をして居るのを幸にソーツと親元預と云ふ事で學校への往返り裏の切戸口から忍びと云ふ少々寸詰りの行き方、女は只遊んで居ても詰らぬと云ふので小遣錢取りやら實家の軒燈の賑かしやらに三太と名乗つて內職を稼せいて居た二十歳の夏入並しい旦那のれ父さんに欺うした事が知れたので容赦なく引き放されたが勿論幾分の涙金は取つたのである、夫れから暫は一本立ちの相變らず自分所の軒燈を借りて面白可笑しく暮し二十二の秋、伊香保で初めて會つた客と深くなつて廿三歳の春トウ／＼夫婦になる事となつて正式に結婚式を擧げた其の色男は同じ町に住む大藏省屬の和田と云ふ男である、其所で彼れは實家の軒燈を別けて貰つて新中家と云ふ藝妓屋を初めた無論自身も三味線つかんで「今晩アリー」は元の如く而して抱の四五人も置いて一本立ちの大姐さんと成り濟ました、夫れが其の僥倖づかずスラ／＼スウと行て居ればきよ壽を興して又潰す面倒を見ずとも濟んだのだが世は褰翁の馬の比喩彼れが二十五の暮も押し詰つた明治三十八年十二月二十一日と云ふにツラ火事だヂャンヂャーンと打付た半鐘の音も消ねない間に貰ひ火で家財道具の多分を燒かれて終つた、此れ迚彼れ一人の災難ぢやない軒を列べた藝妓屋三軒待合六軒も共に燒け出されたのであつた彼が杖とも柱とも頼んで居た糸子と云ふ抱妓が二千何百圓からの借金を背負つたまゝ病死した蹶いた所を突き飛ばされた如な破目に陷つた彼れは一時途方に暮れたのであつたが、實家が左樣した家だけに力になつて與れもするので何うにか斯うにか都合して二十六歳の十一月迄藝妓屋を續けて見たが一還曲りだした運てねのモウ何うにも斯うにも後へも前へも行かなくなつたので其時分既に子迄儲けた良人の和田とも相談の上暫時離れ離れに稼ぐことにして自分だけ渡鮮する事になつたのが明治四十年十二月の中旬であつた伴れ立つて來たのが元松葉亭に居た光一、夫から龍山八景園の小春、夫に實妹のはん太と此の四人、自分は南山町の日本人倶樂部今の京城ホテルに住込んで前記の如く妹は花月に、小春は龍山に、光一は松葉亭に住み込ましたのであつた、光一とはん太の二人は既に年期が明けて歸つたに拘はらず三太は今に彼の始末、と云ふのには理由がある、即ち彼れには藝妓屋を出して居た當時の借金があるのだ(つゞく)

●諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村銀七代理店 田中友吉商店
電話九九三 振替(ダ)

醸造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎
登録商標
最上醤油
山十印
發賣元 京城本町壹丁目 三巳商會 電話七五三番

●貸金 旭町二ノ一五別府 組車棧橋筋向小路 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候



陸軍 北海道廳 ●御用●
●舶來品壓倒的無穴バリカン製作販賣
他年苦心改良の結果異に佛國輸入品と毫も異なる事なき良品を製作せり切味は勿論使用簡便なれば婦人小供にても使用すると自由自在且つ衛生經濟に富む逸品なり尚盗賣任を以て修繕可仕乞ふ安心して御注文あれかし
無限責任 無代修繕券附
保險附 萬一切味不工合等の場合は費用負擔何時にても取換申候
新四號 九十錢
參號 壹圓貳拾錢
式貳號 壹圓四拾錢
壹號 貳圓六拾錢
（以上二ヶ年間無代修繕券附き）
極ABC號 貳圓
號 貳圓貳拾錢
號 貳圓五拾錢也
（以上五ヶ年間保險附）
●十挺以上御注文は特に割引御相談可應候
一挺にて五厘一分三分五分自由に刈込候
●紀念として左の景品を呈し以て全國に頒つ●
西洋形剃刀壹挺 器械刷毛一、防錆油一、耳カキ一、換バネ一、フケトリ一、耳掃除一、
前金送料無料引換便十七錢●行商希望者は此際申込あれ
東京市本所區林町一丁目十一番地 横山バリカン製作所（口座東京一九五四一）

●ピットル散
飲みすぎ食ひすぎたとみに
本舗 大阪市江戸堀 猪飼史郎
各藥店にアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

眼科診察
自午前八時至午後二時 夜間自六時至九時
東京醫科大學選科卒業
京城長谷川町（韓國銀行北側）
田中眼科醫院
六百六號注射需應▲入院隨意

二十世紀之新薬
最良新藥
婦人藥 月經丸
●●●▲月經をつうじ 子宮病を全治す
月經不順
月經閉止三四ヶ月の滞りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上强く夢の病を根治し、血のめぐりを能くす。
常に月經の障害ある人持續させば瘀血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
一日入錢半 一週分廿五錢 二週分四十五錢 三週分壹圓四十錢
本舗 大阪心斎橋二丁目 丹平商會本店
支舗 東京日本橋區通油町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市内其他各店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番九四〇番




問屋 日本橋區横山町 小松商店

直輸入毛織物各種 籐寝臺及籐椅子 冷藏庫 讀書卓子 掛時計 夏季掛類 姥車及花莚種々 鞍 馬具 剣道具 柔道着 刀剣類、馬具一式 大理石輸長崎製洗面器 舶來空氣洋燈各種 火止石油機械用油各種
ノンパレル 火止石油特約店
京城本町三丁目 森安吉商店 電話四三〇番 振替口座朝鮮一五〇番

齒科治療
本町六丁目（觀そば横町）
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談（電話一五八三）

資本金五百萬圓
東京建物株式會社京城派出所
本店 東京日本橋區吳服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戸 電話番號一六八一番
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築
建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候
今や好期續々直接に御申込を乞ふ

東京 足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店 東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

清正 政宗 正則 釀造元
上酒 小賣壹升に付三十錢
清酒 味淋 燒酎 醬油 並に日用食料品雜貨類
卸賣は特別割引可仕候
釀造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候


仁丹
三輪井上兩士方劑
消化と毒けし
THE JINTAN ジンタン 인단 仁丹
●仁丹は此工場に於て嚴正なる監督の下に絶對に精製せらる
故に藥効最も的確なり
即刻御服用あれ
●仁丹製藥場の實景
●凡例 仁丹製藥場位置 大阪東區 總坪數三千二百坪 機關五十馬力
イ製藥部 ロ機關室 ハ倉庫 ニ事務所 ホ食堂 ヘ舍宅 トレール
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

産婦人科
本院 京城明治町一丁目（勸商場横）（電話九六〇番）
診察時間 自午後一時至五時
醫學士 本間健兒
分院 龍山柳町二丁目（元京城會社裏通）（電話龍五二四番）
診察時間 自午前九時至正午
本分院共 入院隨意

蚊帳の必要正に急なり
最新式織目なし染分蚊帳菊水枕蚊帳を初めとして瀬戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデ入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へとの御評判を益々發揮致し充分勉强致します
今回は特に六月五日より六月二十日迄現金に限り正札より五歩引と致します
殊に地方よりの御注文は御安心遊ばす樣最も迅速に御發送致します
京城明治町二丁目（電話二六一番）
唐川吳服店蚊帳部

龍山櫻町百十一番戸
整骨專門治療院
每日午後二時より五時迄出張
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨挫患も之を治療せしむ
主任醫 村田象一
先代の門弟 助手 中野伊之七

M.C.C.
土耳古 紙卷 古賣
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤、鎭南浦、釜山、木浦、群山高瀬支店

專賣局賣販品
特約販賣店
土耳古 紙卷莨金口
SKS エスケーエス
京城辻屋 龍山晉田 木浦沖永 馬山西川 公州中芝 平壤啓昌洋行 鎭南浦宇津木


夏帽子荷揃
パナマ、麥稈、學生用夏帽子
京城本町五丁目 丸二帽子店

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院 院長 小川鶴太郎（電話四二七番）

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所 京城明治町二丁目（電話一五四九）

日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
文房具 和洋紙 度量衡器
シノサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前）電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番


韓國銀行舍宅下
仁川山根町 養雞場
●白毛冠黒色ボーランド ●ノーモルガン系黒ミノルカ ●スミス系横斑プリモースロック ●クツク系黒色オーピントン ●フエリッチ系銀色ワイヤンドット ●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方に分譲す

特約販賣 仁川京城 高雄支店

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣 酒井組 電話二四九番

東京 澤庵萬問屋

特製 實味噌
御料理向
味噌製造 漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

芙江 公州 間定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時 公州發毎日前七時芙江着後四時半船内御客樣の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 六月中 滊船出帆廣告
海州行 安泰丸 廿日、廿四日 海州丸 廿二日、廿六日、三十日
鎭南浦、富里浦、屯串行 三吉丸 廿二日、廿四日
三吉里、海倉、甕島行 成歡丸 廿二日
仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部 電話一七三番七五〇番